

# 令和5年度 第1回大槌町学習・生活アンケート(児童生徒)結果

調査目的：大槌町が推進している大槌型教育（大槌型学習デザイン・一貫教育・ふるさと科等）の推進状況について、児童生徒への質問紙調査結果をもとに評価・検証し、成果や課題を明確にすることで、大槌の子どもたちの「豊かな育ち」と「確かな学び」の実現に寄与できるようにする。

調査期間：令和5年7月（第1回）

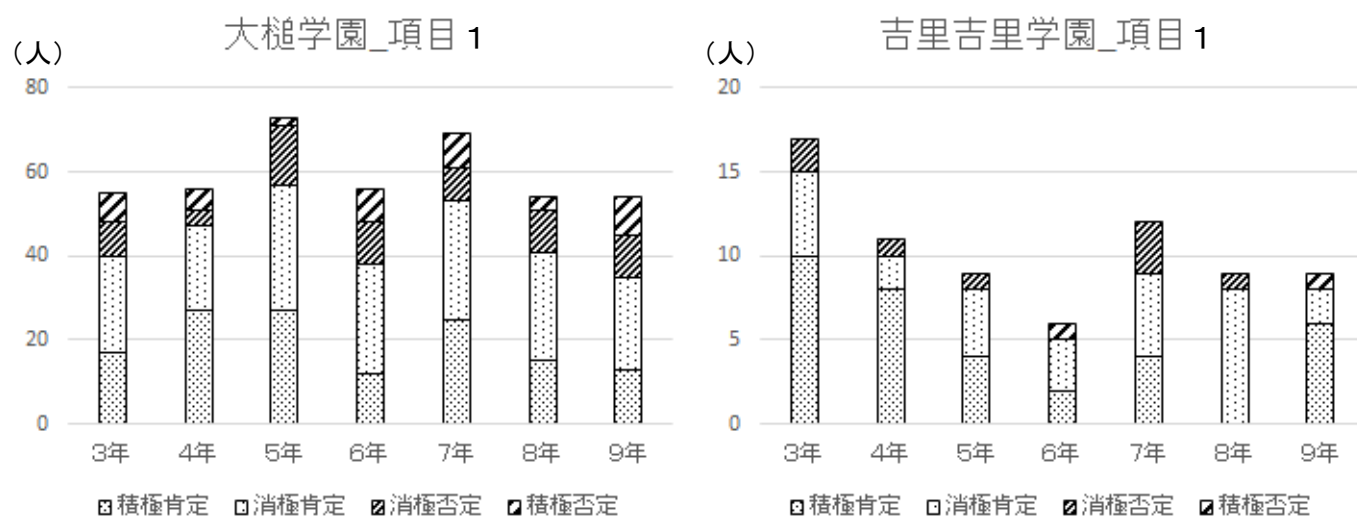
（※令和5年12月に第2回アンケートを実施予定）

調査対象：大槌学園及び吉里吉里学園3学年以上の全児童生徒

【有効回答人数】

| (人)    | 3学年 | 4学年 | 5学年 | 6学年 | 7学年 | 8学年 | 9学年 | 合計  |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 大槌学園   | 55  | 56  | 73  | 56  | 69  | 54  | 54  | 417 |
| 吉里吉里学園 | 17  | 11  | 9   | 6   | 12  | 9   | 9   | 73  |

【項目1】自分にはよいところがあると思いますか。



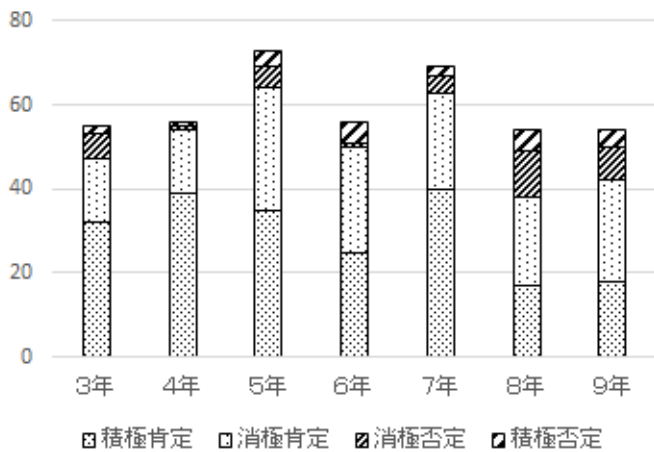
町内両学園合計\_項目1

|       | 積極肯定 | 消極肯定 | 消極否定 | 積極否定 | 合計  |
|-------|------|------|------|------|-----|
| 人数(人) | 170  | 204  | 72   | 44   | 490 |
| 割合(%) | 34.7 | 41.6 | 14.7 | 9.0  | —   |

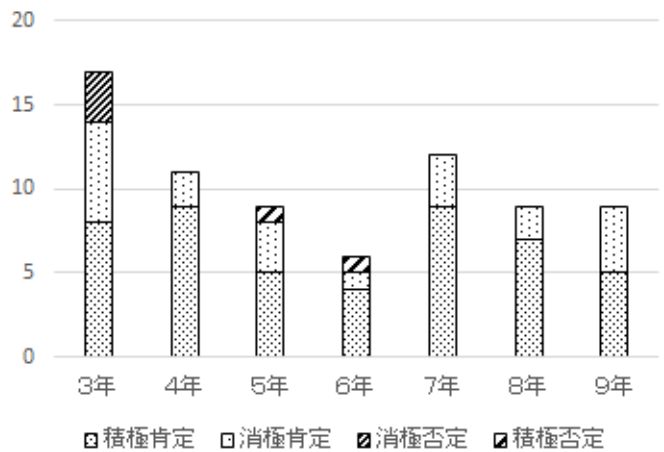
○全体の3割超の児童生徒が積極肯定的に回答し、これまでの教職員や保護者等からの児童生徒一人一人を認め、励ます支援やはたらきかけの成果が結果として表れたと考えられる。多くの児童生徒による集団生活の場である学校においても、今後さらに、自己のよさを実感できる機会、活躍できる機会の意図的な設定や、個々の児童生徒のよさを承認し、伝えることのできる対話場面等の設定ができれば最良であると考えられる。

【項目2】学校に行くのは楽しいと思いますか。

大槌学園\_項目2



吉里吉里学園\_項目2



町内両学園合計\_項目2

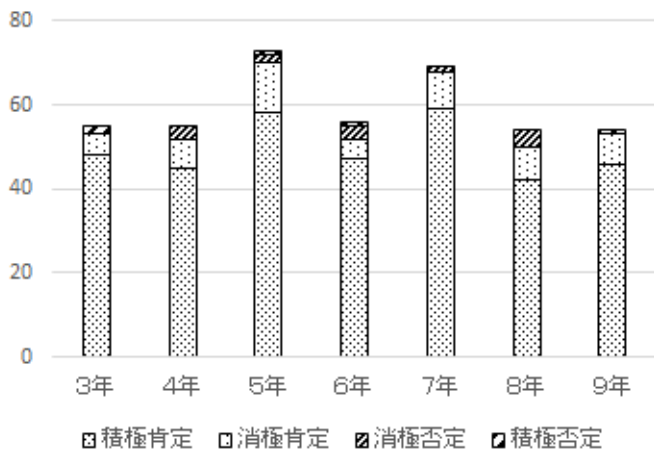
|       | 積極肯定 | 消極肯定 | 消極否定 | 積極否定 | 合計  |
|-------|------|------|------|------|-----|
| 人数(人) | 253  | 173  | 39   | 25   | 490 |
| 割合(%) | 51.6 | 35.3 | 8.0  | 5.1  | —   |

◎全体の5割超の児童生徒が積極肯定的に回答し、これまでの教職員の尽力により、多くの児童生徒が学校への登校に対して前向きな印象を有している点が示されている。

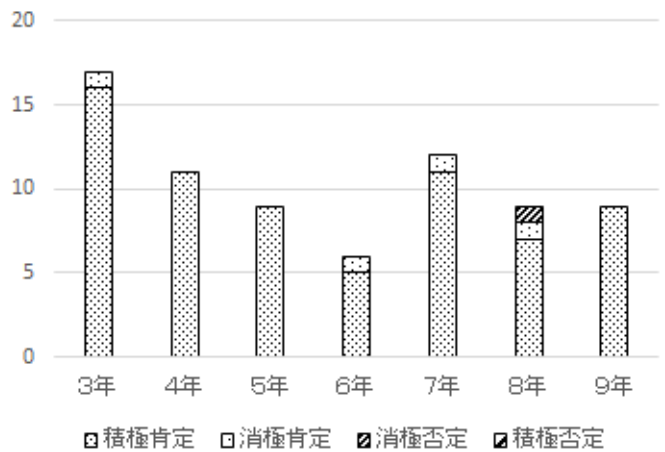
△否定的回答をした1割超の児童生徒に対して、学校への登校に対する前向きな印象形成を促すことだけに偏らず、個別の相談機会の設定等を通して、本人の意向に沿った学習等の場や機会の提供に向けた支援を行うことも重要であると考えられる。

【項目3】いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか。

大槌学園\_項目3



吉里吉里学園\_項目3



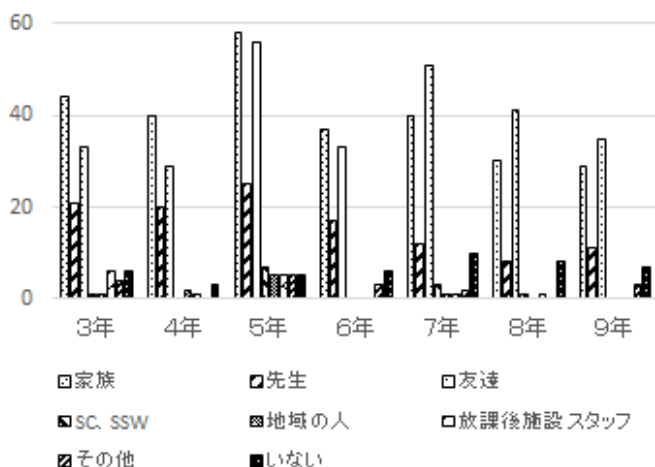
町内両学園合計\_項目3

|       | 積極肯定 | 消極肯定 | 消極否定 | 積極否定 | 合計  |
|-------|------|------|------|------|-----|
| 人数(人) | 413  | 57   | 14   | 5    | 489 |
| 割合(%) | 84.3 | 11.6 | 2.9  | 1.0  | —   |

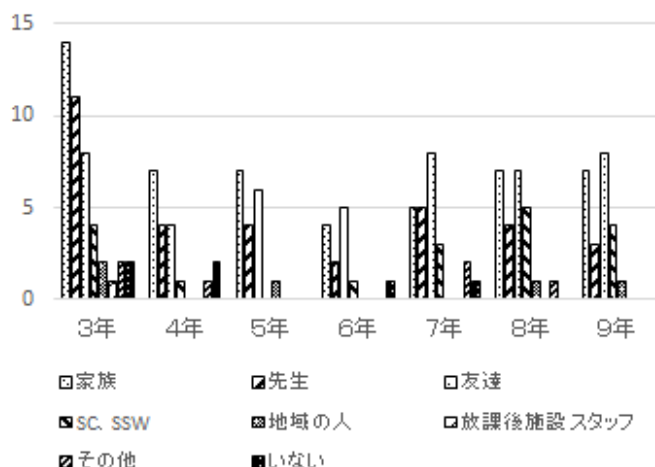
◎全体の8割超の児童生徒は積極肯定的に回答し、これまでの教職員の尽力により、多くの児童生徒が他者の権利や尊厳を守ろうという認識を有している点が示されている。また、今年度9月末までの町内両学園でのいじめ認知件数は4件といじめ事案の発生は少数に留まっていると考えられ、上記認識に基づいた児童生徒の望ましい行動が実践されている点が推察される。

【項目4】自分が悩んでいることがあったとき、誰に相談することが多いですか（複数回答）。

大槌学園\_項目4



吉里吉里学園\_項目4



町内両学園合計\_項目4

|       | 家族   | 先生   | 友達   | SC<br>SSW | 地域の人 | 放課後施設<br>スタッフ | その他 | いない  |
|-------|------|------|------|-----------|------|---------------|-----|------|
| 人数(人) | 329  | 147  | 324  | 30        | 14   | 15            | 23  | 51   |
| 割合(%) | 67.1 | 30.0 | 66.1 | 6.1       | 2.9  | 3.1           | 4.7 | 10.4 |

○全体的に見ると、「家族」及び「友達」の回答数が全体の6割超と多く、多くの児童生徒にとって有効な相談先となっている点が示された。

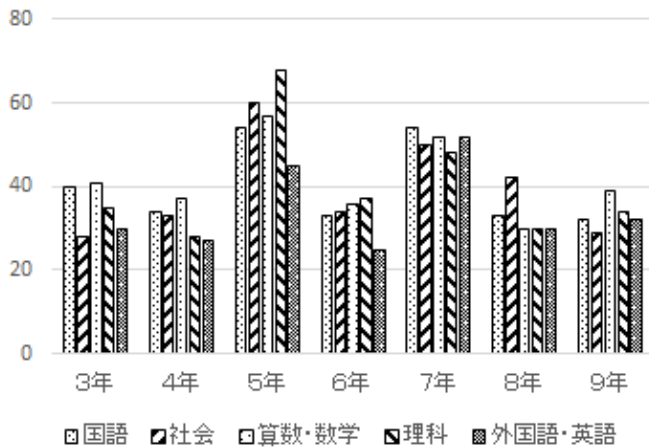
○大槌学園前期課程及び吉里吉里学園では「先生」の回答割合も高く、日常の教職員と児童生徒との友好的な人間関係や、教職員の存在が学校における児童生徒の心理的安全性の基盤となっている点が推察される。

○吉里吉里学園7～9学年では「SC、SSW」の回答が一定数見られた点から、同学園内での全生徒を対象とした支援者による計画的な面談の実施の効果が示され、特に、級友等の人数に限られる小規模校においては、「家族」や「友達」以外の学校教職員や支援者らも児童生徒の有効な相談先となる点が推察される。

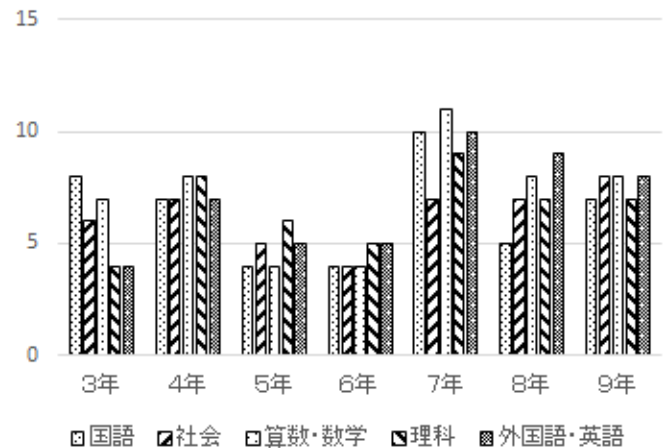
△「いない」と回答した児童生徒も一定数存在したことから、引き続き、児童生徒の身近な支援者（家族、教師、SC、SSW等）が相談先になりうる点とともに、相談電話（例：なやむな電話 0193-42-7867）やオンライン等による相談先についても情報提供、紹介することも重要であると考えられる。

【項目5】 まちがうことを気にせずに、授業に取り組んでいますか（複数回答）。

大槌学園\_項目5



吉里吉里学園\_項目5



町内両学園合計\_項目5

|       | 国語   | 社会   | 算数・数学 | 理科   | 外国語・英語 | 5教科平均 |
|-------|------|------|-------|------|--------|-------|
| 人数（人） | 325  | 320  | 342   | 326  | 289    | —     |
| 割合（％） | 66.3 | 65.3 | 69.8  | 66.5 | 59.0   | 65.4  |

○概ね6割超の児童生徒が各教科の授業において「まちがうことを気にせずに、授業に取り組んでいる」と回答しており、教職員による授業において挑戦できる雰囲気づくりへの尽力により、子どもたちの学習への前向きな挑戦姿勢が醸成されている点が推察される

△大槌学園3～6学年外国語（活動）の回答数が若干少ない傾向にあった。授業において挑戦できる一層の雰囲気づくりと、伴って促進されうる児童生徒の積極性の醸成が理解度向上に寄与する可能性がある。

## 令和4年度から令和5年10月までの長欠児童・生徒の推移と支援状況

R4年度 ※4月は7日以上 5月から30日以上

|     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 小学校 | 1  | 0  | 1  | 1  | 1  | 1  | 3   | 5   | 7   | 9  | 11 | 12 |
| 中学校 | 10 | 1  | 4  | 7  | 10 | 14 | 17  | 16  | 17  | 19 | 21 | 21 |
| 合計  | 11 | 1  | 5  | 8  | 11 | 15 | 20  | 21  | 24  | 28 | 32 | 33 |

R5年度 ※4月は7日以上 5月から30日以上

|     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 小学校 | 4  | 0  | 2  | 3  | 4  | 6  | 12  |     |     |    |    |    |
| 中学校 | 4  | 0  | 3  | 7  | 10 | 17 | 17  |     |     |    |    |    |
| 合計  | 8  | 0  | 5  | 10 | 14 | 23 | 29  |     |     |    |    |    |

R5年度、児童・生徒の状況(R4年度30日以上欠席26名と新規で心配される2名)

|      |    |   |
|------|----|---|
| 回復傾向 | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉里吉里学園7学年：午後に登校し保健室で休養した後、授業や部活動に参加するリズムで安定が見られている。学級担任及び学年主任を中心に本人が参加可能な学校生活形態を提案し、本人が適応できていることで奏功している。</li> <li>・大槌学園9学年2名：町教育相談員を中心に個別の学習支援方法を計画の上提案し、本人、保護者の意向に沿いながら、短時間の登校時間ではあるが、本人の学力や意向に応じた学習支援を受けながら登校を継続している。</li> <li>・大槌学園8学年：これまで学園内の別室登校が難しい状況が続いていたが、9月から週1、2回程度、教育支援センターで教育相談員、SC及びSSWからの支援を受け、本人のペースで学習に取り組むことができるようになった。その後、教育相談員とともに学園内理科室で個別実験に取り組むこともできた。</li> </ul> |
| 維持   | 22 |   |
| 新規   | 2  | 9年生 慕っている友人が児相に一時保護となって以降、保護解除後も学校へ登校する意欲がない。<br>7年生 保護者の思いを受け止め、生徒が安心して登校できるように支援している。欠席2日   |
| 合計   | 28 |   |

支援の状況(延べ人数)

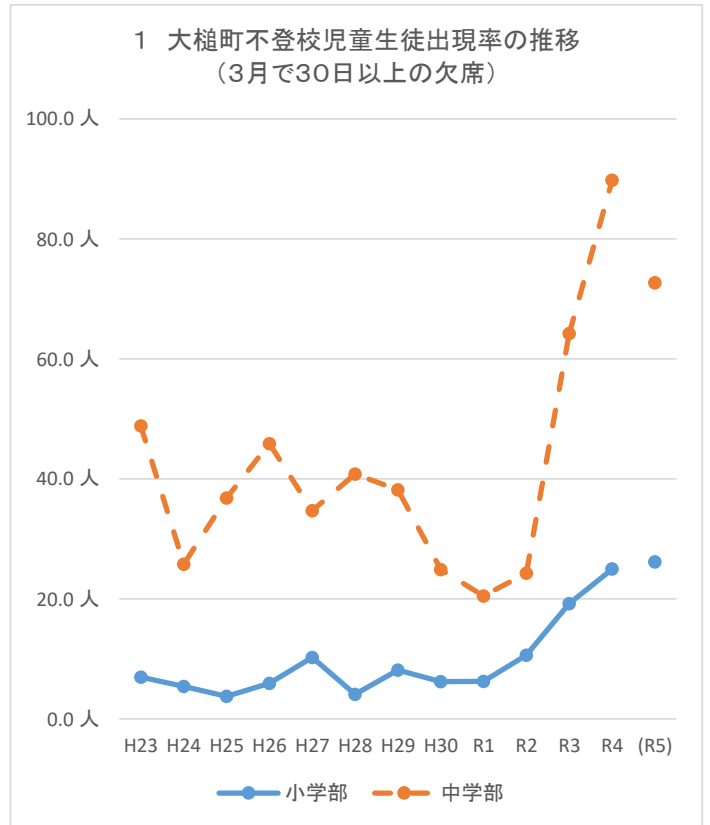
|       |    |  |
|-------|----|--|
| SC    | 15 | 児童・生徒、保護者への支援を丁寧に行い、回復傾向の児童・生徒が増えている。また、心配される児童・生徒の欠席総数を減らすことができている。 |
| SSW   | 18 |  |
| 相談員   | 4  | 相談支援と個別の学習支援も行い、登校が定着している。   |
| 養護教諭  | 2  | 昼食を一緒に食べることで、午後まで学校で過ごすことができるようになった。                                 |
| 学団・担任 | 29 | 定期的に連絡を取り、しっかりつながっている。   |

※悪い状況での維持が10名、家庭で支援の拒否等が見られる。

# 令和5年10月末までの不登校児童生徒の推移

## 1 大槌町不登校児童生徒出現率の推移(3月で30日以上欠席)

|      | 小学部      |              |                  | 中学部      |              |                  |
|------|----------|--------------|------------------|----------|--------------|------------------|
|      | 不登校児童生徒数 | 児童数<br>*3月時点 | 出現率<br>※1000人あたり | 不登校児童生徒数 | 生徒数<br>*3月時点 | 出現率<br>※1000人あたり |
| H23  | 4        | 576          | 6.9人             | 19       | 389          | 48.8人            |
| H24  | 3        | 556          | 5.4人             | 9        | 349          | 25.8人            |
| H25  | 2        | 533          | 3.8人             | 13       | 353          | 36.8人            |
| H26  | 3        | 507          | 5.9人             | 15       | 327          | 45.9人            |
| H27  | 5        | 488          | 10.2人            | 11       | 317          | 34.7人            |
| H28  | 2        | 487          | 4.1人             | 12       | 294          | 40.8人            |
| H29  | 4        | 491          | 8.1人             | 10       | 262          | 38.2人            |
| H30  | 3        | 484          | 6.2人             | 6        | 241          | 24.9人            |
| R1   | 3        | 481          | 6.2人             | 5        | 244          | 20.5人            |
| R2   | 5        | 470          | 10.6人            | 6        | 247          | 24.3人            |
| R3   | 9        | 468          | 19.2人            | 16       | 249          | 64.3人            |
| R4   | 12       | 481          | 24.9人            | 21       | 234          | 89.7人            |
| (R5) | 12       | 459          | 26.1人            | 17       | 234          | 72.6人            |
|      | 全国(R4)   |              | 17.0人            | 全国(R4)   |              | 60.0人            |



※令和5年度は10月末現在の人数

## 2 大槌町不登校児童生徒数(人)の推移

|      | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 合計 |                  |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------------------|
| H23  | 1  | 1  | 1  | 0  | 0  | 1  | 5  | 1  | 13 | 23 | 東日本大震災           |
| H24  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1  | 1  | 3  | 3  | 3  | 12 |                  |
| H25  | 0  | 1  | 0  | 1  | 0  | 0  | 3  | 6  | 4  | 15 | 大槌小学校開校          |
| H26  | 0  | 0  | 1  | 1  | 1  | 0  | 3  | 3  | 9  | 18 |                  |
| H27  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 4  | 3  | 4  | 4  | 16 | 大槌学園開校           |
| H28  | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  | 1  | 4  | 4  | 4  | 15 |                  |
| H29  | 0  | 1  | 1  | 1  | 0  | 1  | 2  | 5  | 3  | 14 |                  |
| H30  | 0  | 0  | 1  | 1  | 1  | 0  | 1  | 3  | 2  | 9  | 全国サミット           |
| R1   | 0  | 0  | 0  | 1  | 2  | 0  | 0  | 2  | 3  | 8  |                  |
| R2   | 0  | 1  | 0  | 0  | 1  | 3  | 3  | 0  | 3  | 11 | 新型コロナウイルス感染症蔓延   |
| R3   | 1  | 0  | 1  | 1  | 3  | 3  | 9  | 7  | 0  | 25 | ↓                |
| R4   | 0  | 0  | 1  | 5  | 2  | 4  | 3  | 12 | 6  | 33 | ↓                |
| (R5) | 0  | 2  | 1  | 2  | 5  | 2  | 1  | 4  | 12 | 29 | ※令和5年度は10月末現在の人数 |

